

平成27年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

愛媛県

行事名称	重要文化財 伊佐爾波神社火災防ぎょ訓練
実施期間・日時	平成28年1月26日（火）10時00分～11時00分
実施場所	松山市桜谷173 伊佐爾波神社敷地及び周辺
主催者	伊佐爾波神社・松山市東消防署

■実施内容

訓練の想定

愛媛県下には、数日前から火災気象通報が発令され、火災の発生しやすい気象状況の中、伊佐爾波神社本殿から火災が発生した。伊佐爾波神社自衛消防隊の懸命な初期消火活動にもかかわらず、折からの強風にあおられ、飛火により隣接する山林に延焼拡大する危険な状況となった。

訓練の内容

- ・伊佐爾波神社自衛消防団による、出火確認、参拝者避難誘導
- ・湯築地区自主防災会による初期消火
- ・東消防署による人命検索、火点検索、要救助者の救出、放水消火
- ・松山市消防団道後分団による消火活動支援
- ・愛媛県防災航空隊による要救助者（重傷者）の航空搬送

参加者及び役割分担

- ・伊佐爾波神社自衛消防団 4名：出火確認、参拝者避難誘導、119番通報
- ・湯築地区自主防災会 12名：初期消火（バケツリレー）
- ・松山市東消防署 32名：人命検索、火点検索、要救助者の救出、放水消火、総括、講評
- ・松山市消防団道後分団 10名：消火活動支援
- ・愛媛県防災航空隊（防災ヘリ1機）：要救助者（重傷者）の航空搬送
- ・松山市教育委員会 2名：現場立会

特に工夫した点

防災ヘリによる要救助者の搬送。

問題点・課題

常駐している神社関係者が4名しかおらず、今回の訓練のように地域住民や消防署とのスムーズな連携が取れるかどうか課題。

その他

防火防災機器の法定点検を確実に実施し、日頃から見廻り等を励行しているが、今後は易操作性消火栓の操作訓練等に取り組みられるよう所有者にお願いした。

訓練風景



要救助者搬送



放水訓練